



11月3日に九州地区予選となる九州実業団毎日駅伝大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響から、外国人選手を起用することができずに序盤から苦しいレース展開となりましたが、5区の前賀選手が9位でたすきを受け取ると、持ち前のロードの強さを発揮して区間新記録(区間2位)の走りで7位まで順位を押し上げました。その後アンカーの大畑選手も1人選手を抜き去り、6位でゴールとなりました。

その後ニューイヤー駅伝に向け、トラックレースにて強化を図り、11月の日体大長距離記録会10000mでは鈴木選手が自己記録更新と毎日駅伝を走れなかった悔しさを晴らす走りを見せました。また同月の2021八王子ロングディスタンス10000mに

古賀選手が出場し、安川電機陸上部では史上初となる27分台で走り10年ぶりとなる安川記録更新を果たしました。

古賀選手は勢いそのままにニューイヤー駅伝でもエース区間の4区で15人抜きを果たすと、往來の区間記録を3秒更新する区間2位と圧巻の走りを見せました。しかしながらチームは主力選手の故障等によりベストメンバーで臨むことができず苦戦が強いられ、25位と非常に厳しい結果となりました。

駅伝では満足のいく結果を残すことができませんでしたが、これからマラソン・ロードレース等で皆様に喜ばしい結果を報告できるように精進してまいります。



九州実業団毎日駅伝(2021年)7区大畑選手フィニッシュ



九州実業団毎日駅伝(2021年)4区山瀬選手→5区古賀選手



選手コメント

古賀 淳紫

2021年上期に7回挑戦して達成できなかった10000m27分台を、今季8回目の11月の記録会で27分51秒で達成することができました。安川記録であった、10年前の北島さんの28分08秒を更新することができ、良かったです。

10年前と比べると、シューズの進化、アミノ酸など化学の技術も上がり記録は出やすくなりました。そういう力も借りながら成長していけたらと思っています。

今後はマラソンに挑戦します。2時間06分、07分台目指して頑張ります。

◆ 2021年11月～2022年1月の主な戦績

日程	大会名	成績
11月 3日	第58回 九州実業団毎日駅伝競争大会	総合6位 ※()内は区間順位 1区:北島寿典選手(7)、2区:岡田浩平選手(11)、3区:加藤風磨選手(8)、4区:山瀬大成選手(7)、5区:古賀淳紫選手(2)、6区:山口晟弥選手(8)、7区:大畑和真選手(4)
11月 13日	第292回 日本体育大学長距離競技会	10000m:山瀬大成選手 7組37位、鈴木雄太選手 6組17位(自己記録更新)
11月 27日	2021八王子ロングディスタンス	10000m:古賀淳紫選手 7組(A)9位(安川新記録・自己新記録)、加藤風磨選手 5組(C)15位、
11月 27日	第6回 鞘ヶ谷記録会	5000m :新郷幸聖選手 11組15位
12月 4日	第293回 日本体育大学長距離競技会	10000m:谷川貴俊選手 7組6位、山瀬大成選手 7組10位、鈴木雄太選手 7組12位、山口晟弥選手 6組4位
1月 1日	第66回 全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)	総合25位 ※()内は区間順位 1区:岡田浩平選手(31)、2区:ワルデッツファ選手(14)、3区:加藤風磨選手(27)、4区:古賀淳紫選手(2)、5区:山瀬大成(32)、6区:谷川貴俊選手(31)、7区:山口晟弥選手(34)